

頸椎の手術を受ける患者さんへ

患者氏名

さん

主治医署名

担当医署名

受け持ち看護師署名

月日・日時													～
経過(病日等)	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	退院まで	
達成目標	・手術の必要性を理解し、安心して手術を迎えることができる		・バイタルサインが安定する ・痛みの調整ができる ・傷の腫れ・発赤・熱感・出血がみられない ・転倒転落を起こさない ・皮膚トラブルがない								-38度以上の熱や創部の赤み・腫れがない ・退院後の注意点について理解できる		
治療・薬剤(点滴・内服)・リハビリ	下剤を内服します。()	手の甲に点滴時の痛みを和らげるテープを貼ります。()	抗生剤の点滴が数日間あります。創部に血液が溜まらないよう、ドレーンが留置されます(術後2日目に抜去します)										
	手術は ()	午後からの手術の場合は点滴をします。 後頭部の散髪があります。(別途料金がかかります)	・血栓予防のため足に弾性ストッキングやマッサージの器械をつけます。歩行の機会が増えれば医師の指示にて除去できます。 ・医師指示のもと必要に応じてリハビリが開始になります。		点滴があります。(食事を半分以上食べることができれば終了です)痛み止めの注射が数日間あります。		食事が食べられるようになれば痛み止めの内服が始まります。痛みが強い場合は坐薬も使用することが出来ます。						
処置			傷の状態を確認します。		出血がなければ毎日傷の確認のみ実施します。		抜糸します。		傷の確認をします。				
検査	採血・レントゲン・呼吸機能検査・心電図検査があります。		採血があります。		必要に応じて医師の指示により採血・レントゲン・CT検査があります								
活動・安静度	特に制限はありません。		・体位変換をお手伝いします。 ・痛みに応じて少しずつ背もたれを上げていきます。(ヘッドアップ30度まで) ・固定術の方など場合によっては頸椎カラーを装着します。		痛みに合わせて起き上がっていきます。車椅子や歩行器を使用してリハビリを開始していきます。								
食事	特に制限はありません。(朝食は食べてきてください。夕食まで通常通り摂取します。)		絶水・絶食指示があります。絶食 前日() 絶水 当日()		腸の音が確認できたら水を飲むことができます。		腸の音が確認できたら食事が開始となります。飲み込みの状態を確認しながら食事形態を変更します。						
清潔	シャワー浴ができます。				お体拭きをします		術後3日目以降、発熱や傷の状態が問題なく医師の許可があればシャワー浴が開始となります。最初は看護師が介助します。自立できるよう入浴時の注意点を説明します。						
排泄	排便状況を確認します。				ベッド上で排泄します。尿は管が入っていますので自然に流出します。		歩行状態に合わせて尿道の管を抜きま						
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ	・主治医からの手術説明があります。 ・麻酔科医からの説明があります。 ・血栓予防のための靴下のサイズを測ります。 ・手術室、集中治療室の看護師より説明があります。 ・看護師が術前術後の経過について説明しチェックリストで必要物品を確認します。各種同意書をお預かりします。		必要物品は別紙参照ください。テープ剥がしは病棟でも準備できますので、看護師に伝えてください。 ※散髪代は入院費に含まれず、別途必要です。		・手術後、主治医からご家族に手術の結果の説明があります。 ・麻酔から覚めたら深呼吸をしましょう。手術後24時間以内は状態が変化しやすいため1-2時間毎に状態を観察します。 ・痛みがある場合は遠慮せずにお知らせください。状態に合わせて看護師が鎮痛剤の使用や体位変換などを行います。						・術後5日目ごろ、退院後の生活について本人・家族の希望と医師の方向性を確認します。(必要時応じて地域連携室が介入し、転院調整を始めていきます。) ・看護師から退院後の生活についての説明があります。		

※病名等は、現時点で書かれるものあり。手術前後等を進めいくに従って変わることがあります

※入院費額等については現時点で書かれる期間です